

事業報告等

第5期

自:平成26年3月 1日

至:平成27年2月28日

一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト

I 事業報告

II 事業報告の附属明細書

III 貸借対照表

IV 損益計算書

V 財務諸表に対する注記

VI 附属明細書

I 事業報告

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成22年3月2日

(2) 定款に定める目的

がん医療に携わる医療者の育成支援と、がん患者とその家族および一般生活者に対する啓発活動と情報提供を行い、がん医療の教育推進に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容（公益目的事業、収益事業等）

- i 各種媒体における情報提供事業
- ii 教育・啓発セミナー事業
- iii 専門家育成のためのプロダクト開発支援事業
- iv 海外留学支援事業
- v 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(4) 会員（社員）の状況

社員数：14名（平成27年2月現在）

(5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

主事務所 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館4F

(6) 役員等に関する事項

役職	氏名
理事長	福岡正博
専務理事	津川浩一郎
常務理事	上野直人
常務理事	朴成和
常務理事	山本信之
理事	奥山裕美
理事	佐治重衡
理事	中村清吾
監事	金谷政徳

(7) 職員に関する事項

事務局長 小久保光昭

事務員 浅田寿美

1 事業の状況

(1) 事業の経過及びその成果

1)-1 Japan TeamOncology Program 2014 (JTOP)

◆運営のための会議開催

1. 第1回日米執行委員会 (2014/2/24)
2. 第2回日米執行委員会 (2014/4/24)
3. 第3回日米執行委員会 (2014/5/13)
4. 第4回日米執行委員会 (2014/6/10)
5. 第5回日米執行委員会 (2014/7/29)
6. 第6回日米執行委員会 (2014/8/26)
7. 第7回日米執行委員会 (2014/10/7)
8. 第8回日米執行委員会 (2014/11/11)
9. 第9回日米執行委員会 (2014/12/9)
10. 第10回日米執行委員会 (2015/1/27)
11. 第1回運営委員会 (2014/4/1)
12. 第2回運営委員会 (2014/5/27)
13. 第3回運営委員会 (2014/6/24)
14. 第4回運営委員会 (2014/7/22)
15. 第5回運営委員会 (2014/9/9)
16. 第6回運営委員会 (2014/10/21)
17. 第7回運営委員会 (2014/11/18)
18. 第8回運営委員会 (2014/12/18)
19. 第9回運営委員会 (2015/2/10)
20. 第1回Jメンター会 (2014/5/27)
21. 第2回Jメンター会 (2014/6/24)
22. 第3回Jメンター会 (2014/7/22)
23. 第4回Jメンター会 (2014/9/9)
24. 第5回Jメンター会 (2014/10/21)
25. 第6回Jメンター会 (2014/11/18)
26. 第7回Jメンター会 (2014/12/18)
27. 第8回Jメンター会 (2015/2/10)
28. 第1回日米オールメンターキックオフ会議 (2014/8/19)
29. 第2回日米オールメンター会議 (2014/9/22)
30. 第3回日米オールメンター会議 (2014/10/28)
31. 第1回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/6/18)
32. 第2回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/8/7)
33. 第3回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/9/4)
34. 第4回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/10/9)
35. 第5回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/11/6)

36. 第 6 回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2014/12/4)
37. 第 7 回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2015/1/8)
38. 第 8 回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2015/1/29)
39. 第 9 回チームオンコロジーセミナー企画会議 (2015/2/12)
40. チームオンコロジーセミナー実行委員会 (2014/10/6)
41. チームオンコロジーセミナー共催企業説明会 (2015/1/31)

◆イベント事業

1. MD アンダーソンがんセンターへの留学研修プログラム

Japanese Medical Exchange Program 2014 (H26/4/17-5/24)

医師 2 名、看護師 2 名、薬剤師 2 名

2. The 3rd TeamOncology Leadership Academy (H26/11/22-11/24)

於：昭和大学旗の台キャンパス 16 号館講義棟

参加者：医師 21 名、薬剤師 19 名、看護師 21 名、理学療法士 1 名、クリニカルソーシャルワーカー 2 名、
医薬統計家 2 名 がんサバイバー 4 名、計 70 名 ※うち海外より 6 名（韓国 2 名、
中国 4 名）

応募開始 5 月 30 日 応募締切 8 月 1 日

1)-2 Web site : TeamOncology.com

1)-2-1 会員数およびサイト総ページビュー

1. TeamOncology.Com 会員数：2,822 名（医師 736 名 看護師 760 名 薬剤師 606 名
その他(患者・一般) 720 名)
2. サイト総ページビュー：月間約 60,000~90,000 (YouTube を含む)
3. 制作 Web ページ総数 (TeamOncology.Com サイトのみ)：約 500 ページ以上
4. 掲示板投稿数：月平均 16~20 件
5. 運営メルマガリスト数：40 (利用医療者数 約 726 名)

1)-2-2 コンテンツ

1. ミニブログ Twitter および Facebook ページ『Cancer がん 癌 No More』によるチーム
オンコロジー情報の発信
2. メールマガジンによるチームオンコロジー情報の発信
3. Facebook グループなどの SNS サイトや 30 種類以上のメルマガリストを活用した、がん医療者のコミュニ
ティ構築
4. 掲示板活性化のための J-TOP チューター新当番制 (実行+サポートチーム制) の構築と運用管理
5. 掲示板活性化のための新カテゴリ造設制度 (チューターのやりたい事支援企画) の構築
6. 連載エッセイ『ヤングオンコロジースペシャリストの声』による、次世代のがん医療を目指す若き医療者へ
の情報発信

■連載エッセイ『ヤングオンコロジースペシャリストの声』2014年度掲載記事

- (1) 「“全ての患者さんをハッピーにする” という Vision の実現に向けて」
川名明子（薬剤師）
- (2) 「夢～薬剤師として、そしてCRCとして～」中野理恵（CRC/薬剤師）
- (3) 「A Journey of Future Medical Oncology Trial Investigator」古川孝広（医師）
- (4) 「たくさんの出会いに育んでもらって」河口浩介（医師）
7. YouTube の各種動画コンテンツを活用したオンデマンド学習「TeamOncology Video Lectures」の
Twitter 等を通じた普及
8. 連載エッセイ『チームオンコロジーへの道—その挑戦の日々』による J-TOP 未来の情報発信
- (1) 「放射線治療の未来は明るい、チームオンコロジーはめっちゃ楽しい」
ノルシャズリナ ビンティ スライマン（医師）
- (2) 「看護師として～私のチームオンコロジーへの道」大内紗也子（看護師）
- (3) 「Go! Fight! Win! 患者さんの笑顔のために」宮道二葉（薬剤師）
- (4) 「勇気の源 “チームオンコロジー”」下雅意彩（薬剤師）
9. The 3rd TeamOncology Leadership Academy の各種 Web ページ制作
10. The 3rd TeamOncology Leadership Academy の各種フォトアルバム制作（Facebook を活用）
11. MD アンダーソンがんセンター研修報告ページ制作、新 J-TOP 未来紹介ページ制作

12. 【TeamOncology 写真掲示板：チームオンコロジー写真とレポート記事連載】
- (1) The 12th Japanese Medical Exchange (JME) Program レポート
13. 「MD アンダーソンがんセンター ニュースリリース」日本語版記事連載および記事紹介ページ更新
14. 動画ブログ・ヒューストンフリップ：HoustonFlip 運営管理
15. TeamOncology.Com サイトのアクセスログおよび各種サイトの解析（毎日）、それらの解析に基づく月
間報告作成

1)-2-3 衛星サイト7サイトの現状(2015年2月末現在)

1. Facebook ページ「Cancer がん 癌 No More」
（ファン数 2,273 閲覧者数（週間） 約 2,000～3,000 人）
2. Facebook グループ「Japan TeamOncology Program グループ」（メンバー数 266 人）

2)-1 Oncology Dream Team Project:

“My Oncology Dream” Program

◆イベント事業

1. 福岡がんアドボケートセミナーの開催（ドリームキャッチャー養成）セミナーの開催(H26/4/19)
於：福岡県すこやか健康事業団学術研究センターセミナー室
修了生：45名（がんサバイバー・医療従事者・学生・会社員）
募集期間：2014年3月17日～4月14日（全国から募集）
2. JSMO2014 イベントアドボケートプログラム(H26/7/7)
「がん アドボケート活動のエッセンスとは」セミナーの開催

於：福岡サンパレス 2F

参加者：28名（がんサバイバー・医療従事者）

3. MOD 写真掲載

トータル 923名：2015年2月末

（医療者 676名 / 患者、サバイバー、その他 247名）

3)-1 J-HOPE

◆運営のための会議開催

1. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/4/15)
2. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/6/11)
3. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/7/18)
4. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/8/20)
5. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/9/21)
6. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/10/15)
7. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/12/2)
8. J-HOPE ファカルティ会議 (H26/12/21)
9. J-HOPE ファカルティ会議 (H27/1/6)

◆イベント事業（共催事業）

1. 最先端がん治療セミナー2014「究極のがんマネジメント：Supportive Care
～QOL改善と治療効果の向上を目指して（H26/7/12～13）
於：和歌山県立医科大学
参加者：医師 20名、看護師 17名、薬剤師 14名、理学療法士 1名 計 52名
2. The 3rd Clinical Research Skill Advancement Workshop (H27/1/9-11)
参加者：医師 19名（うち韓国から1名 / 台湾から3名）

4)-1

(1) 資金調達の状況

該当ありません。

(2) 重要な契約の締結

「メッドコア・アソシエイツ株式会社」

1. 事務局業務の委託契約を締結した。

契約金額：月額 270,000円（税込4月より8%消費税）

契約日：平成26年3月1日

契約期間：平成26年3月1日～平成27年2月28日

2. ジャパン・チームコントロール・プログラムの業務の委託契約を締結した。

契約金額：月額 1,620,000円（税込4月より8%消費税）

契約日：平成26年3月1日

契約期間：平成26年3月1日～平成27年2月28日

(4) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

区分	第3期	第4期	第5期
	自：平成24年3月1日 至：平成25年2月28日	自：平成25年3月1日 至：平成26年2月28日	自：平成26年3月1日 至：平成27年2月28日
売上高合計	78,815,735	31,257,083	65,366,425
当期純利益合計	△22,786,360	△40,205,807	1,057,491
総資産	55,145,209	35,880,982	27,265,161
純資産	45,701,789	5,495,982	6,553,473

(5) 社員総会、理事会等に関する事項

i. 社員総会、理事会

開催日	会議名	決議事項等
H26年6月12日	社員総会	議事録ご参照
H26年6月12日	理事会	議事録ご参照
H27年2月12日	理事会(メールにて)	愛媛ホームコングレセミナー予算確定

3 株式等を保有している場合の概要

該当ありません。

4 対処すべき課題

特に記載すべき事項はありません。

5 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

特に記載すべき事項はありません。

II 事業報告の附属明細書

1 役員等の兼務の状況

区分	氏名	兼務する他の法人名	兼務内容	備考
理事長	福岡正博	和泉市立病院がんセンター	がんセンター長	医師
専務理事	津川浩一郎	聖マリアンナ医科大学	教授	医師
常務理事	上野直人	テキサス大学 MD アンダーソンがんセンター	教授	医師
常務理事	朴成和	国立がん研究センター中央病院	科長	医師
常務理事	山本信之	和歌山県立医科大学	教授	医師
理事	奥山裕美	昭和大学薬学部	兼任講師	薬剤師
理事	佐治重衡	福島県立医科大学	教授	医師
理事	中村清吾	昭和大学医学部	教授	医師
監事	金谷政徳	金谷公認会計士事務所	代表	公認会計士

Ⅲ 貸借対照表

平成 27 年 2 月 28 日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	27,265,161	【流動負債】	20,711,688
現金及び預金	27,265,161	未払金	18,957,688
		未払法人税等	70,000
		前受収益	1,684,000
		負債の部合計	20,711,688
		純資産の部	
		【株主資本】	6,553,473
		利益剰余金	6,553,473
		その他利益剰余金	6,553,473
繰越利益剰余金	6,553,473		
純資産の部合計	6,553,473		
資産の部合計	27,265,161	負債及び純資産合計	27,265,161

Ⅳ 損益計算書

自 平成 26 年 3 月 1 日 至 平成 27 年 2 月 28 日 (単位：円)

【売上高】		
寄付金収入	54,050,000	
企業助成金	9,181,425	
参加費	2,125,000	
会費	10,000	
売上高合計		65,366,425
売上総利益金額		65,366,425
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		64,243,948
営業利益金額		1,122,477
【営業外収益】		
受取利息	6,123	
営業外収益合計		6,123
経常利益金額		1,128,600
税引前当期純利益金額		1,128,600
法人税, 住民税及び事業税		71,109
当期純利益金額		1,057,491

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成 26 年 3 月 1 日 至 平成 27 年 2 月 28 日

(単位:円)

科目	金額
支払手数料	52,329
広報 社団 Web 作成関連費	31,752
広報 社団案内・英訳費用	53,496
広報 J-TOP Web 作成関連費	1,138,764
広報 ODT Web 作成関連費	151,675
P 運営 JME Program	4,546,922
P 運営 最先端がん治療セミナー	2,658,798
P 運営 MOD 活動助成	130,000
P 運営 MOD 実行委員会	81,125
P 運営 社団理事会会議実費	52,650
P 運営 JTOP 委員謝礼	1,184,036
P 運営 JTOP 委員会会議費	55,256
事務局運営費 社団運営費	3,232,500
事務局運営費 JTOP 運営費	19,395,000
会計事務費(公認会計士)	1,099,800
P 運営 第 3 回 Leadership Academy	18,471,505
P 運営 3rd Clinical Research Workshop 運営経費	4,725,601
P 運営 J-HOPE Web サイト 運営制作費	73,051
P 運営 J-HOPE ファカルティ謝礼・交通費	2,798,617
P 運営 事務局長報酬	388,800
P 運営 MOD 福岡編 DC 養成講座	751,425
P 運営 MDA メンター謝礼	2,943,173
P 運営 3rd Clinical Research WS パイプライン説明会	82,665
社団 レンタルオフィス	92,800
社団 事務関連費	52,208
販売費及び一般管理費合計	64,243,948

V 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 引当金の計上方法

該当なし。

(4) リース取引の処理方法

該当なし。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の処理方法は税込み処理によっている。

2. 担保に供している資産

該当なし。

3. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
—	—	—	—
計	—	—	—

4. 保証債務

該当なし。

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
—	—	—	—
計	—	—	—

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種類	監事	
法人等の名称	金谷公認会計士事務所	
住所	東京都中央区銀座 4-10-3	
事業の内容又は職業	会計事務所	
議決権の所有割合	—	
関係内容	役員の兼務等	監事
	事業上の関係	税務会計顧問契約
取引の内容	報酬の支払	
取引金額 (円)	1,099,800	
科目	—	
期末残高 (円)	—	

7. 重要な後発事象

該当事項なし。

8. その他

該当事項なし。

VI 附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
		—	—	—	—
計		—	—	—	—

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

3. 貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項

特に記載すべき事項はありません。